

微分積分 1 (第2版) 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2024年8月16日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	21	例 2.3		削除
1,2	28	[2](1)	$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{1}{n+1} - \frac{1}{n} \right)$	$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2^{n-1} + 3^{n+1}}{2^{n+1} - 3^{n-1}}$
1,2	37	6 行目	…存在しない.	…存在しない. つまり, $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{x}{ x }$ は発散する.
1,2	39	練習問題 3 [4] の図	右のように修正 (●と○を入れ替える)	
1	45	1 行目	関数 $f(x)$ が $x = a$ で微分可能であるとする. $x \neq a$ である…	関数 $f(x)$ が $x = a$ で微分可能であるとき, $f(x)$ は $x = a$ で連続であることを示す. $x \neq a$ である…
1	57	5.1 5 行目	$\dots = -\lim_{h \rightarrow 0} \frac{-h}{hx(x+h)} = -\frac{1}{x^2}$	$\dots = -\lim_{h \rightarrow 0} \frac{h}{hx(x+h)} = -\frac{1}{x^2}$
1	66	対数微分法 1~2 行目	対数関数の微分法を利用して, $y = x^\alpha$ ($x > 0, \alpha$ は実数) の導関数を求める. 両辺の対数をとると $\log y = \log x^\alpha$ であり, 対数の性質から,	対数関数の微分法を利用して, x^α ($x > 0, \alpha$ は実数) の導関数を求める. 対数の性質から,
1	93	下から 7 行目	なお, 原始関数は…	なお, 原始関数と…
1	106	下から 3~1 行目	…このように面積を求める方法を 区分求積法 という. 区分求積法を利用すると, 面積に限らず体積や長さなどのいろいろな量を求めることができる[→第9節].	…このように, 区間を分割し, 和の極限值として面積や体積などを求める方法を 区分求積法 という.
1	109	例 8.1 (2)2 行目	$\dots = \frac{1}{3}(e^3 - e^0) = e - 1$	$\dots = \frac{1}{3}(e^3 - e^0) = \frac{1}{3}(e^3 - 1)$

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	113	定積分と面積 (1)1行目	区間 a, b で…	区間 $[a, b]$ で…
1	113	定積分と面積 (2)1行目	区間 a, b で…	区間 $[a, b]$ で…
1	113	定積分と面積 (2)2行目	… $f(x)$ と $-f(x)$ は x 軸に対して…	… $f(x)$ と $-f(x)$ は x 軸に 関 して…
1,2	144	練習問題 2 [2](1)	0 [通分する]	-9 [$3^{n+1} = 3^n \cdot 3$ である]
1,2	145	3.8 (3)	存在しない	発散
1	149	6.1(1)	$\left[\lim_{x \rightarrow \pm\infty} \frac{1}{x^2 + 3} = 0 \right]$	$\left[\lim_{x \rightarrow \pm\infty} \frac{3}{x^2 + 3} = 0 \right]$
1	151	第 2 章 [6]2行目	… $dV = 3x^3 dx, dV = 0.03$ から…	… $dV = 3x^2 dx, \Delta V = 0.06$ から…
1	152	7.9(1)	$\frac{x^2}{4}(\log x - 2) + C$	$\frac{x^2}{4}(2 \log x - 1) + C$
1,2	152	7.12(1)	$\log(x + \sqrt{x^2 + 1}) + C$	$\log(x + \sqrt{x^2 + 5}) + C$
1	154	練習問題 8 [3](6)	$\frac{\sqrt{3}\pi}{3} - \log^2$	$\frac{\sqrt{3}\pi}{3} - \log 2$